

IMAGE RECEIVING PAPER FOR VIDEO PRINTER

Patent Number: JPA 4-58369U
Publication date: 1992-5-19
Inventor(s): K. ITOH
Applicant(s): FUJITSU GENERAL KK
Application Number: JP 2-99294 (filed: 1990-9-21)

Claim:

An image receiving paper of a video printer for printing television pictures etc. by a video printer, having a perforation in a margin portion of a printable area on each of the left and right end portions of the image receiving paper, the perforation being substantially perpendicular to the upper and lower ends of the image receiving paper,

wherein the width between each perforation and the left or right end of the printable area is made substantially equal to the width of the margin of the upper end etc. of the printable area.

Brief Explanation of Drawings:

FIG. 1 is a plan view of an example of an image receiving paper of a video printer according to the present utility model. FIG. 2 is a plan view of an example of a prior art image receiving paper of a video printer.

In the figures, reference numerals 1 and 11 represent a printable area, numeral 2 a perforation, numerals 3 and 4 a width of a margin portion, numerals 5 and 12 a grip portion, and numeral 6 a marker.

CT015-99/KR

Jul. 29. 2003

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-58369

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)5月19日

B 41 M 5/40

8305-2H B 41 M 5/26

H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全1頁)

⑮ 考案の名称 ビデオプリンタの受像紙

⑯ 実 願 平2-99294

⑰ 出 願 平2(1990)9月21日

⑱ 考 案 者 伊 藤 暢 行 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑲ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

⑳ 実用新案登録請求の範囲

ビデオプリンタによりテレビジョン画像等を印刷する受像紙において、前記受像紙の左端部および右端部の印刷範囲の余白部分にそれぞれ受像紙の上下端と略垂直をなすミシン目を設け、それぞれのミシン目より前記印刷範囲の左端若しくは右端までの幅を前記印刷範囲の上端部等の余白の上下幅と略同じとなるようにしたことを特徴とする

ビデオプリンタの受像紙。

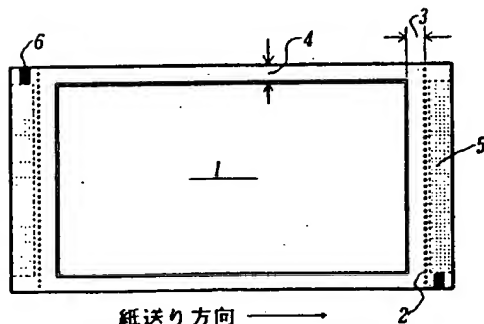
図面の簡単な説明

第1図は本考案によるビデオプリンタの受像紙の一実施例の平面図、第2図は従来のビデオプリンタの受像紙の例の平面図である。

図中、1および11は印刷範囲、2はミシン目、3および4は余白部分の幅、5および12は挟持部分、6はマーカーである。

FIG. 1

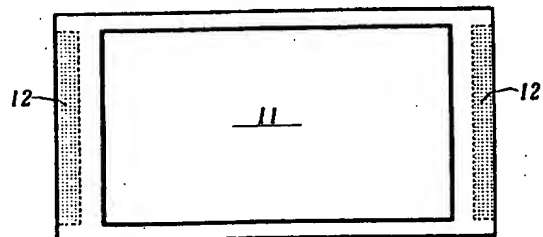
第1図



paper feed direction

FIG. 2

第2図



paper feed direction

T. ME491

提出期日：2003. 9. 29

特許庁
意見提出通知書

出願人 氏 名 キヤノン株式会社
住 所 日本国東京都大田区下丸子 3 丁目 30 番 2 号
代理人 氏 名 張 秀 吉 外 2 人
住 所 ソウル市鍾路区内資洞 219 ハンヌリビル(金&張特許法律事務所)
出 願 番 号 1 0 - 2 0 0 1 - 0 0 2 1 4 1 7
発明の名称 Printing Paper, Print Forming Process and Printing System

本出願に対する審査結果、下記の拒絶理由があり、特許法第 63 条の規定に基づいてこれを通知するので、意見があるか補正を行う必要がある場合には前記提出期日までに意見書[特許法施行規則別紙第 25 号の 2 書式]または／及び補正書[特許法施行規則別紙第 5 号書式]を提出されたい(前記提出期日に対し、毎回 1 ヶ月単位で延長を申請することができ、この申請に対し、別途の期間延長承認通知はしない)。

[理由]

本出願の特許請求の範囲第 1 項～第 10 項に記載された発明は、その出願以前にこの発明が属する技術分野における通常の知識を有する者であれば、以下に指摘したことにより容易に発明できるものであるため、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

1. 本願発明の特許請求の範囲第 1 項～第 10 項は、印刷用紙及び印刷方法に関するもので、中央部分と外側部分が穿孔された切取線により容易に切断されることができ、縁部が曲線型である印刷用紙を利用することを技術的特徴としているが、本願発明の出願前に公知された日本公開実用新案公報平 4-58369 号(1992. 05. 19: 引用発明 1)において中央部分と外側部分が穿孔された切取線により切断されるようにする印刷用紙が記載されており、また日本特許公開公報平 7-61151 号(1995. 03. 07: 引用発明 2)に縁部が曲線型である印刷用紙が記載されているところ、本願発明は印刷時、外側部分をはし用に使用するために中央部分と外側部分が穿孔された切取線に分けられているという点から引用発明 1 の構成と同一であり、縁部を曲線型にするという点から引用発明 2 の構成と同一であるため、本願発明は前記引用発明 1 と 2 から通常の知識を有する者であれば容易に発明できるため、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

[添付]

添付 1 日本公開実用新案公報平 4-58369 号(1992. 05. 19:引用発明 1)

添付 2 日本特許公開公報平 7-61151 号(1995. 03. 07:引用発明 2)

2003. 7. 29

特許庁 審査 3 局

精密化学審査担当官室 審査官 キム・ヒョンスク